

平成24年度 学力定着実態調査の結果及び改善計画

尾道市立 高西 中学校

国語

【今年度の結果】

◆偏差値

全国	市	自校
50	50.7	52.7

◆領域別結果(正答率)

領域	全国	市	自校
話すこと・聞くこと	86.0	89.5	90.1
書くこと	57.5	59.4	61.2
読むこと	51.5	50.4	53.6
伝統的な言語文化と国語の特質	56.8	57.4	62.9

【来年度の目標値】

◆偏差値

自校
54

◆領域別結果(正答率)

領域	自校
話すこと・聞くこと	92
書くこと	63
読むこと	55
伝統的な言語文化と国語の特質	64

R

重点課題

P

D

重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

C

検証方法

①文中の漢字を正しく書くことに課題がある。(通過率19%)

②目的や意図に応じて書く事柄を収集し、全体を見通して事柄を整理することに課題がある。(通過率38%)

③文章の内容を的確に押さえ、要旨をとらえて読むことに課題がある。(通過率40%)

①-1
単元ごとに小テストを行い、漢字の定着を図る。

①-2
毎日の家庭学習として、漢字学習を行う。

②-1
書く活動を行う際には、必ず自分の書いた文章を推敲するよう習慣づける。

②-2
ペアやグループで他の生徒が書いた文章を推敲する活動を行わせる。

③-1
説明的文章や小説の単元において、接続表現や指示語に注目させて、筆者の示している具体例を読み取らせる。

③-2
自分の考えを書く際に、読み手に伝わるように具体例を示して書く活動を行わせる。

○同様の漢字を含む問題を作成し、小テストを実施する。

○同様の問題を作成し、小テストを実施する。

○定期テストに同様の問題を出題し、同じ観点で評価する。

平成24年度 学力定着実態調査の結果及び改善計画

尾道市立 高西 中学校

数 学

【今年度の結果】

◆偏差値

全国	市	自校
50	51.3	52.3

◆領域別結果(正答率)

領域	全国	市	自校
数と式	57.6	61.4	62.5
図形	51.9	54.1	55.1
関数	52.7	54.0	55.1
資料の活用	43.3	45.8	50.7

【来年度の目標値】

◆偏差値

自校
55

◆領域別結果(正答率)

領域	自校
数と式	65
図形	60
関数	60
資料の活用	60

R

重点課題

P

D

重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

C

検証方法

①2量の関係の見方や調べ方に課題がある。(通過率:57.2%)

②文字で表された式を読みとったり、値を求めたりすることに課題がある。(通過率:38.4%)

③縮尺を用いて実際の距離を求めたり、さまざまな図形の面積を求めたりすることに課題がある。(通過率:48.4%)

①-1
観察・実験・操作を通して具体的なイメージが持てるような数学的活動の工夫を行う。

①-2
小集団での活動を取り入れ、自他の考えを伝え合うことにより、2量の関係についての理解を深めさせる。

②-1
指導の際に絵や図を用いて、文字式が表している数量についての具体的なイメージを持たせる。

②-2
代入を行う際の計算ミスを防ぐため、途中式を丁寧に書くように指導する。

③-1
身近な資料を教材として扱い、課題解決型の学習を行う。

③-2
面積を求める問題の応用力を育てるため、模型を効果的に使い、面積の求め方を公式以外のさまざまな方法で考える活動を取り入れる。

○定期テストに類題を出題し、同じ観点で評価する。

○定期テストに類題を出題し、同じ観点で評価する。

○定期テストに類題を出題し、同じ観点で評価する。

平成24年度 学力定着実態調査の結果及び改善計画

尾道市立 高西 中学校

社会(地歴)

【今年度の結果】

◆偏差値

全国	市	自校
50	51.4	49.9

◆領域別結果(正答率)

領域	全国	市	自校
世界と日本の地域構成	56.0	64.6	63.1
地域の調査・世界と比べた日本	58.8	60.8	59.1
原始から古代	55.0	55.3	51.6
中世の日本	56.7	54.6	51.2

【来年度の目標値】

◆偏差値

自校
52

◆領域別結果(正答率)

領域	自校
世界の様々な地域	65
原始から古代古代	56
中世の日本	57

R

重点課題

P

D

重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

C

検証方法

①地域調査・世界と比べた日本, 世界の国々とその調べ方の統計資料の読み取りに課題がある。(通過率32%)

②原始から古代の問題, 古代国家の歩みと東アジアの情勢の年表の読み取りに課題がある。(通過率30%)

③中世の日本の問題, 武士の起こりと鎌倉幕府, 室町幕府の成立と東アジアの動きに課題がある。(通過率34%)

①-1
授業で, 資料の読み取り方法を教える。

①-2
授業中, 資料から分かることをペアやグループで伝え合う場面を作る。

②-1
各時代の出来事を年表にまとめる作業を行わせる。

②-2
年表を見て, 各時代の出来事をペアやグループで問題を出し合う場面を作る。

③-1
歴史の大まかな枠組みを理解させるために, 時代の名前や順番などを覚えさせる。

③-2
年表を見て, 各時代の名前をペアやグループで問題を出し合う場面を作る。

○同様の問題を出題し, 同じ観点で評価する。

○同様の問題を作成し, 小テストを実施する。

○同様の問題を作成し, 小テストを実施する。

平成24年度 学力定着実態調査の結果及び改善計画

尾道市立 高西 中学校

理科

【今年度の結果】

◆偏差値

全国	市	自校
50	49.4	49.5

◆領域別結果(正答率)

領域	全国	市	自校
身近な物理現象	54.6	53.8	55.6
身の回りの物質	65.3	62.7	61.4
植物の生活と種類	63.5	63.6	65.7
大地の変化	57.1	56.0	53.7

【来年度の目標値】

◆偏差値

自校
52

◆領域別結果(正答率)

領域	自校
身近な物理現象	56
身の回りの物質	66
植物の生活と種類	66
大地の変化	58

R

重点課題

P

D

重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

C

検証方法

①圧力の求め方に課題がある。
(通過率9%)

②質量パーセント濃度の求め方に課題がある。
(通過率23%)

③沸点の違いを利用して混合物を分離することを蒸留というが、その理科用語の定着に課題がある。
(通過率51%)

①-1
公式を教える際に、実際に煉瓦等を用いて力がはたらく面積の違いによる圧力の違いを実感させる。
①-2
圧力以外にも単位の変換を必要とする計算が多くある。その都度単位の変換について、ていねいに押さえる。

②-1
公式を教える際に、実際に溶液を作らせることにより、理科用語を実感を伴って理解させるようにする。
②-2
質量パーセント濃度以外にも割合の概念を必要とする計算が多くある。その都度割合の意味と求め方について押さえる。

③-1
蒸留の実験を行った後に、「この操作のことを蒸留という。」と押さえるが、次の時間に小テストを行うなど、理科用語が定着するよう、くり返し書かせる機会を多く持つようにする。
③-2
理科用語を獲得する過程を重視し、単に教え込むのではなく、科学的に探究する過程を踏まえて獲得させるようにする。

○復習の時間を設け、同類の問題を解かせる。

○復習の時間を設け、同類の問題を解かせる。

○復習の時間を設け、同類の問題を解かせる。